

「ロボリーマン」活動拡大

熊本大など 職場訪問で健康づくり 開発キャラ

働く若者らの健康づくりを後押しするため熊本大などの

研究班が誕生させたキャラクター「ロボリーマン 週三郎」

が、活動の幅を広げている。

県内企業の訪問や健康イベントの参加などを重ね、働き盛り世代に生活習慣の改善を呼び掛けている。

熊本大政策創造研究教育センターの河村洋子准教授らの研究班は全国健康保険協会（協会けんぽ）熊本支部などと協力し、2013年度から若手労働者の生活習慣病を予防する取り組みを始めた。健康づくりを普及させるキャラ

クターとして昨年、ロボリーマンを誕生させた。

1月からは、かぶりものの姿のロボが企業訪問をスタート。2月下旬には、河村准教授と清涼飲料水販売のサント

リービバレッジサービス九州営業本部（熊本市中央区）を訪れた。

同社では、運動不足などが気になっている従業員6人と面会。職場で実践できる運動メニュー「チョビサイズ」を紹介する手帳を配った。

さらに、参加した従業員に日頃の生活習慣を振り返ってもらい、「風呂上がり

にストレッチをする」「晩酌で使うグラスを小さくする」などと努力目標を決めてもらった。

これまでに4団体の職場を訪れており、今後も健康づくりに取り組む職場があれば生活習慣の改善について助言するという。

河村准教授は「訪問した企業では、生活習慣の改善など効果が出始めている。ロボリーマンに関心を持ってもらうことで、企業の健康意識を高めていきたい」と話している。河村准教授 ☎ 096(342)2041。（田中祥三）

※職場や自宅で行える「チョビサイズ」は、10日から第2・4金曜日の朝刊くらいで紹介し



ロボリーマン（右奥）も同席する中で、日頃の生活習慣を振り返るサントリービバレッジサービス九州営業本部の従業員たち

熊本市中央区